

## プロロジス、株式会社ポプラと 災害時における物資供給の協定を締結

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内)は、株式会社ポプラ(本社:広島県広島市、以下ポプラ)と、災害時の物資供給に関する協定を締結したと発表しました。

### ■ 協定締結の目的

本協定は、プロロジスが運営する物流施設(プロロジスパーク)で働く被災者に、食品、衣類、寝具など必要な物資を迅速に届ける目的で締結されました。

### ■ 協定の内容

地震・風水害等の災害発生時に、プロロジスからの要請により、被災者が必要とするものをポプラが輸送します。現在、プロロジスが運営する一部の物流施設にはポプラのコンビニエンスストアが入っていますが、協定締結により、コンビニエンスストア・売店がない施設や帰宅困難等のため物資が不足した場合にも迅速に届けることが可能となります。なお、物資の費用や輸送費はプロロジスが負担します。輸送対象地は、プロロジスが関西圏において運営している全14物件のプロロジスパーク、プロロジス大阪オフィスおよび、その他プロロジスが要請する場所です。今後は、他地域のプロロジスパークにおいても同様の取り組みを検討してまいります。

### ■ 防災に関するその他の取り組み

プロロジスは、全世界において ESG(「環境への取り組み」「社会貢献と企業としての責任」「企業倫理とガバナンス」)を3本の柱として持続可能性に配慮した企業活動を行っています。

国内では防災対策も積極的に進めており、プロロジスパーク内での防災用品の備蓄、緊急地震速報や衛星電話の導入のほか、自治体との協働により、災害時における避難場所としての物流施設活用にも取り組んでいます。また、複数企業が入居するマルチテナント型物流施設においては、停電後72時間程度の電力を維持する非常用電源、断水時にも使用できる非常用トイレ(ほぼ紙トイレ®)などの設備を標準装備とし、入居企業の事業継続をサポートしています。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先  
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム  
[https://f.msgs.jp/webapp/form/11859\\_dor\\_73/index.do](https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do)